

サカイ



大阪・堺の街にあたらしい文化が生まれます。
芸術文化の発信拠点フェニーチェ堺2019年秋グランドオープン

FENICE SACAY

インフォメーションマガジン



FENICE SACAY



フェニーチェ堺 Presents

南宗寺の宴 ～利休に捧ぐ～ 2018

黄金の日々と呼ばれた中世堺に開山した南宗寺。

千利休が禅を学び、侘茶を大成したことで知られる名刹で展開する、堺の輝かしい歴史と現代を結ぶ贅沢なイベント。

Vol.1

山下洋輔 (ジャズ・ピアノ) ライブとお話

5月26日(土) 開演18:00 / 開場17:45

【堺市民WEB申し込み】 3月29日(木)12時～4月2日(月)13時まで
 【一般WEB申し込み】 4月12日(木)12時～4月16日(月)13時まで
 【往復ハガキ申し込み】 ～4月20日(金) 消印有効 返信:4月28日(土) 投函

プロフィール:1969年、山下洋輔トリオでデビュー。作家、作曲家、クラシックピアノ奏者として活躍するジャズ・ピアノの第一人者。2003年新選奨、2012年旭日小綬章受章。



Vol.2

人形浄瑠璃文楽 桐竹勘十郎 ライブとお話

6月2日(土) 開演18:00 / 開場17:45

【堺市民WEB申し込み】 4月5日(木)12時～4月9日(月)13時まで
 【一般WEB申し込み】 4月19日(木)12時～4月23日(月)13時まで
 【往復ハガキ申し込み】 ～4月27日(金) 消印有効 返信:5月9日(水) 投函

出演:浄瑠璃=竹本津駒太夫、三味線=竹澤宗助、人形=桐竹勘十郎 他
 演目:「藤浦宛書状」阿古屋琴貴の段より 他

プロフィール:1957年14歳で三代吉田寛助に入門、寛太郎を名乗る。2003年三代桐竹勘十郎を襲名。2008年新選奨、2010年芸術院賞、2016年毎日芸術賞受賞。



竹本津駒太夫



竹澤宗助



桐竹勘十郎



料金(各公演共)

¥700

指定・税込 拝観料込
 (16:30～拝観いただけます)

各公演
限定112名
 チケット申し込み
 抽選
 当選結果
 チケット購入

堺市堺区南旅籠町東3-1-2

阪堺線「御陵前駅」下車徒歩5分

※駐車場はご利用いただけません。公共交通機関をご利用ください。

なんしゅうじ
会場:南宗寺 (本堂)

Vol.3

平原綾香 ライブとお話

6月7日(木) 開演18:00 / 開場17:45

【堺市民WEB申し込み】 4月26日(木)12時～5月1日(火)13時まで
 【一般WEB申し込み】 5月10日(木)12時～5月14日(月)13時まで
 【往復ハガキ申し込み】 ～5月16日(水) 消印有効 返信:5月22日(火) 投函

プロフィール:2003年12月17日にホルストの組曲「惑星」の「木星」に日本語詞をつけた「Jupiter」でデビュー。シンガソングライター、ミュージカル女優としても活躍。



Vol.4

さだまさし ライブとお話

6月8日(金) 開演18:00 / 開場17:45

【堺市民WEB先行申し込み】 4月26日(木)12時～5月1日(火)13時まで
 【一般WEB申し込み】 5月10日(木)12時～5月14日(月)13時まで
 【往復ハガキ先行申し込み】 ～5月17日(木) 消印有効 返信:5月23日(火) 投函

プロフィール:「精進流し」「雨やどり」「明白堂」「無父の一巻長い日」「本の園から～涙かぬ大地より～」など、多くのヒット曲を生み出す日本を代表するシンガソングライター、タレント、小説家としても活躍中。



Vol.5

辻井伸行(ピアノ)×佐渡裕(フルートとリコーダーの演奏) ライブとお話

6月14日(木) 開演18:00 / 開場17:45

【堺市民WEB申し込み】 5月10日(木)12時～5月15日(火)13時まで
 【一般WEB申し込み】 5月17日(木)12時～5月21日(月)13時まで
 【往復ハガキ申し込み】 ～5月23日(水) 消印有効 返信:5月29日(火) 投函

辻井伸行プロフィール:日本を代表するピアニスト、作曲家。その生き方に深く共感するファンの大いなる支持をもつ。佐渡裕プロフィール:旅レオナド・ハーンスタイン、小澤征理らに師事。国内外で活躍する日本を代表する指揮者。



辻井伸行



佐渡裕

チケットのお申し込み方法

WEB申し込み

財団HPの「南宗寺の家」公演画面からお申し込みください。[堺市民WEB申し込み] 抽選

※WEBからのお申し込みにはSACAYメイトへの登録(無料)が必要です。

往復ハガキ申し込み

往復ハガキに下記の必要事項を記入し、送付ください。

往復 住所:〒590-0946 堺市堺区南野町東4丁-20 林ビル6階

宛名:(公財)堺市文化振興財団 フェニーチェ堺準備室 宛

記載事項:①ご希望の公演名 ②ご希望枚数(上限2枚)

③郵便番号、住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥電話番号

返信 宛名:返信希望先のご住所、氏名

※個人情報、は当日の公演案内以外では使用しません。

WEB申し込み

QRコードからSACAYメイトに
 登録(無料)いただき、
 お申し込みください。



[堺市民WEB申し込み] 抽選

【堺市民WEB申し込み】は
 堺市にお住まいの方が対象。
 その他にお住まいの方は

【一般WEB申し込み】からお申し込みください。

※小学生以下の方にはご遠慮ください。

※席数は先着順となります。

※窓口での販売、電話予約の取り扱いはございません。

1557年創建 利休ゆかりの名刹 南宗寺



国指定重要文化財 南宗寺一仏殿

【南宗寺を訪ねて】

知識は必要だが、まずは解説など読まず何にもとられずにお寺に入っていくのがよい、白洲正子は「古寺を訪ねる心」で書いている。それに倣い、阪神線「御陵前駅」より徒歩で5分ほど、紀州街道から数本細い通りを入った南旅電町にたずむ、南宗寺を訪ねてみよう。境内には枯山水の庭があり、じっと眺めれば石と砂で表現された山河から、渦を巻く水の流れを感じることが出来る。中世に繁栄を遂げた堺商人たちの、宗教心がふいに感得される瞬間だ。

南宗寺住職の田島碩徳(たにま せくとく)老師は、手づからたてお茶をふるまいつつ、「中世の堺では商人の文化水準が非常に高く、仏に通じる生き方を是としていた。そのひとつの到達点が茶道です。ここ南宗寺は、武野燭燭(たけのろうろう)や千利休、津田宗及(つのだむねかつ)とゆかりが深く、茶の湯の象徴的な場所として、いまも人々の拠り所となっているのだ」と語る。戦国乱世にあって、お茶の文化が人々にもたらす精神世界とはどのようなものだったのか、ここからは知識がくふく必要となる。

南宗寺は、1526年(大永6年)に京都大徳寺の当時の住職、吉藏宗巨(よしかぞうきゅう)が堺のひとつの小院を南宗庵と呼んだことに始まる。1557年(弘治3年)、

戦国武士の雄であった三好長慶(みよしながよし)が父元長の菩提を弔うために、臨濟宗大徳寺派の禪寺として大林宗套(おおくまむねと)を迎えて開山した。大坂夏の陣で焼失するも、1617年(元和3年)に沢地宗室(さわぢむねむね)によって現在の地に再建、国の重要文化財の指定を受ける仏殿や甘藷門は、この頃に整備されたもの。仏殿は禅宗建築の技法を用いた仏殿建築で、内部の天井に狩野信政による「八方観みの龍」が描かれており、中央には釈迦如来が安置される。小さな規模ながら重厚さの際立つ建物である。

南宗寺の建立に先立つこと何十年、1468年の応仁の乱により京都は焼かされ、大徳寺もその嵐から逃れることはできなかった。復興に尽力したのはおなじみの一休禪師。彼は堺の豪商を経済的な頼みの綱とした。こうして結ばれた大徳寺と堺の絆にあって、一休禪師を信奉していた、茶道の始祖・村田珠光(むらたたまるとく)との縁も繋がれている。珠光門下で茶を学んだ武野燭燭、そして紹諭の弟子となった千利休は、南宗寺で修行を積んだのだ。

紹諭、利休、津田家、半井家の、千家一門の供養塔がならぶ一角は、南宗寺の見どころのひとつである。毎年2月27日の利休忌には全国から一門の人々が集う。茶道をたしなむ人にとっての真の「聖地」は、京都大徳寺でなく堺の南宗寺なのだ。利休の「茶禅一味」の考え方を知るには、南宗寺



国指定重要文化財 南宗寺一廣門



国指定重要文化財 南宗寺一廣門(燈籠及び葵の彫刻)



利休を中心とする三千客の供養塔

の存在を欠くことができない。

ここで再び、田島老師のお話に戻ろう。「堺は仏国主と呼ばれるほど宗教心にあふれた町人を擁し、180に近いお寺が建っていたといわれています。」対明貿易を中心に東アジア貿易で稼いだ富は、堺を天皇家の権力でも武家の権力でもなく、初めて自治の力によって発展する都市へと導いた。商人は寺を寄進することで徳を積むと考えたのだ。そして富はだいたいお茶の文化にも投入されていく。たとえ客人が武將であろうとも主客が対等となる茶室という空間に特有の、友愛のフィロソフィを尊んだからでもある。

茶室で「六根」と呼ばれる人間の感覚すべてを充足させ、宇宙と一体感を得ること。人々はお茶にこそ、仏教で「法悦」されるこの心境を求めた。宗教活動こそ生きる理由という、高度に洗練された文化の中心地であった南宗寺。ここを訪れる際は、そんな中世の堺人の精神に、そっと思いを馳せてみたい。

江南屋菓子(創業家、ライオン)
1975大阪府生まれの現在、近畿大学、京都造形芸術大学非常勤講師、現代日本語を中心に海外の解説小説まで幅広くカバーし、新聞、文芸誌、ファンタジー誌などで積極的に作品紹介続ける。お上末秋子責任編集『早稲田文学 女性号』にも論考を発表。共著に『世界の8大文賞 受賞作から読み解く』(現代小説の今)(立葉書)、大澤聡樹(1990年代編)(河出書房新社)など。



南宗寺一廣門(枯山水)

堺の歴史と言え! 川上浩さんにきてみた!!

徳川家康 ここに死す!!

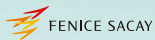
南宗寺にはもうひとつ必ず見ておきたいものがある。それが「徳川家康の墓」だ。大坂夏の陣の翌年に駿府城で没し、日光東照宮に改葬されたはずの家康と堺との知られざる関係とは? NPO法人堺観光ボランティア協会理事長川上浩さんはこう教えてくれる。「『南宗寺史』には、家康が大坂夏の陣で負傷した田原幸村の奇襲を受けて驚愕で逃げる途中、後藤又兵衛の刃に倒れ、寺に祀られたという説があるんです。」この伝説を裏付けるように、瓦に「奠」の紋がある唐土が残っている。1967年(昭和42年)には立派な墓が境内に建立され、賛同者には現行ソニック創業者の松下幸之助の名前も認められる。川上さん曰く、「1623年(元和9年)には徳川秀忠と家光、ふたりの将軍がひと月ほどの間に南宗寺を参詣した記録もあります。」いわゆる都市伝説か、知られざる事実か。家康を愛した堺の人々の思いの結晶が、墓となったとも考えられる。

徳川家康の墓と認められる無名の墓



2019年秋グランドオープン!! フェニーチェ堺誕生!!

新しいSACAYの文化が始まる



南海高野線
なんば～堺東
約10分



外観イメージ



大ホール



小ホール



ガレリア

2019年秋グランドオープンのフェニーチェ堺、地下1階、地上6階の堺の新しいシンボルとなる建物は、堺東駅から徒歩約10分の旧市民会館跡地に建設されています。大ホールは大阪市内の公共ホールで唯一2000席を有し、本格的な舞台芸術や多彩な公演を提供することとなっています。大ホール以外にも、市民の文化活動に利用しやすい小ホール(312席)、大スタジオ、文化交流室、多目的室なども整理され、ガレリア、展望ガーデン、空中歩廊、公園やレストランなど、やすらぎの空間も充実しています。

フェニーチェ(FENICE)とは? =イタリア語で不死鳥

堺は大坂夏の陣、戦災など数多くの傷を負ってきましたが、その都度不死鳥のように蘇ってきました。「フェニーチェ」には悠久の歴史の中で文化を大切に、常に前を向いて歩んで来た先人の想い、それを受け継ぐ我々の決意を表し、堺の芸術文化発展に飛躍し続けるという意味が込められています。

なぜSACAY? =中世ヨーロッパでの“堺”興り

ヨーロッパでの印刷による単独の日本図としては最初の地図、ティセラノルテリウス「日本図」(1595年)、その日本地図に記載されている都市は「都」「鹿児島」そして「堺=SACAY」の3都市のみ、中世から自由・自治都市、国際貿易港として繁栄した当時の堺を彷彿とさせる表現にしました。



ティセラノルテリウス「日本図」(堺市博物館所蔵)

アクセス
南海高野線「堺東駅」から
徒歩約10分

FENICE SACAY

「ものの始まり何でも堺」

中世から自由貿易都市として発展してきた堺。「もの始まり何でも堺」と言われてきたように文化・技術の発信地として大きな役割を担ってきました。「包丁」「自転車」など長年培われてきた確かな技術から生まれた製品。「傘」「縁番」など西宮貿易からもたらされ根付いた雑貨。そしてもちろん文化面でも「三味線」「謡曲」など、堺発祥のものは数多くあります。フェニーチェ堺は、「もの始まり何でも堺」の想いをこめ、この新しいキャッチフレーズを掲げ、堺市から新しい文化を生み出してゆきます。



SACAY-ALWAYS THE TRIGGER

TRIGGER 英語 名詞：(銃などの)引き金、きっかけ 動詞：(出来事や反応などを)引き起こす、もたらす
「堺はいつでも何かをもたらすきっかけとなっている」という、過去現在問わず、もの、文化など、何が始まる躍動感、この英語のキャッチフレーズにクールに含められている。

公益財団法人堺市文化振興財団 理事長挨拶

平素は、堺市文化振興財団にご支援とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、当財団は、市民による市民のための文化を創造し、ひいては堺市を世界に誇りうるまちとして発展させることをめざして1994年に設立されて以降、堺市の文化振興の推進母体として、鑑賞公演や普及育成に関する事業などに積極的に取り組んでまいりました。

2019年秋には、当財団が管理運営を担う「フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)」がグランドオープンいたします。

当財団としては、「フェニーチェ堺」が芸術文化による感動・喜び・活気に溢れ、次代の堺の人づくり・まちづくりに貢献するとともに、多くの方に愛され、利用者にご満足いただき、市民の誇りとなる施設となるよう、精一杯取り組んでまいります。

「フェニーチェ堺」のオープンは、堺の文化振興にとっての大きな転換期になることから、この機に合わせて、このたび、情報誌をリニューアルすることいたしました。

フェニーチェ堺の様々な情報をはじめ、多彩な素晴らしい文化芸術事業などをご案内するとともに、堺市の都市魅力を国内外に発信してまいりますので、今後の発刊を楽しみにしていただければ幸いです。

今後とも、「フェニーチェ堺」をはじめ当財団の取組みに対し、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしく申し上げます。



理事長 梅原利之

チケット購入方法

WEBで予約

堺市文化振興財団 検索

(公財)堺市文化振興財団ホームページ

<https://www.sakai-bunshin.com>

- 24時間予約OK
- 財団HP「チケット購入方法」から予約
- sacayメイトの登録が必要です。(WEB予約はログインIDとパスワードでログイン)
- お支払いはクレジットカード決済かセブンイレブン支払から選べます
- チケット引取は下記窓口かセブンイレブンから選べます

TELで予約

堺市文化振興財団チケットセンター(平日9:00~17:30)

072-228-0055

- チケット引取は下記窓口より選べます
- ※発売日、翌週の月曜日より受付開始(公演により異なる場合があります)

窓口で直接購入

下記で空席状況を確認しながら、座席を選んでご購入いただけます。

(公財)堺市文化振興財団	販売 9:00~17:30	堺市南区熊野町東4-4-20 林ビル6階 / 南海高野線「堺東」駅徒歩約10分 TEL:072-228-0440 FAX:072-232-0110 / 土曜・日曜・祝日 および年末年始
堺市立樟文化会館	販売 9:00~20:00	堺市南区桃山台2-1-2 / 泉北高速鉄道「樟・美木」駅前 TEL:072-296-0015 FAX:072-291-7083 / 月曜および年末年始
堺市立東文化会館	販売 9:00~20:00	堺市東区北野田1084-136 / 南海高野線「北野田」駅直結 TEL:072-230-0134 FAX:072-230-0138 水曜(祝日の場合は開館)および年末年始
アルテベル (堺市立美原文化会館)	販売 9:00~20:00	堺市美原区黒山167-1 / 南海バス「美原区役所前」バス停前 TEL:072-363-6868 FAX:072-363-0070 第2・第4月曜(祝日の場合は開館)および年末年始

●ご購入いただいたチケットは公演中止を除き、変更・キャンセルはできません。 ●紛失・破損等いかなる場合においても再発行はいたしません。

サカ イ sacayメイト募集

登録無料



詳しくは
堺市文化振興財団 検索

(公財)堺市文化振興財団やフェニーチェ劇場で取り扱うチケットを便利にご購入いただけるサービスです。

4つのsacayメイト特典

- 先行予約 チケットがいち早く予約できる(一部公演を除く)
- メルマガ配信 最新の公演情報をメールでいち早くお届け
- WEBチケット購入 24時間どこからでもチケットが買える
- その他 お得な情報が届くかも?

フェニーチェ劇場・(公財)堺市文化振興財団 寄附のご案内

フェニーチェ劇場をはじめ(公財)堺市文化振興財団をご支援いただく寄附金を募集しております。
詳しくは(公財)堺市文化振興財団 総務課までお問い合わせください。
TEL:072-228-0114(平日9:00~17:30) FAX:072-228-0115

堺市南区役所情報コーナー、文化会館、図書館、その他各市民関係施設、南海本線・高野線、泉北高速鉄道の主要駅、その他、配布協力施設など。

情報誌設置場所(季刊)



イラスト:一色 美穂



SACAY Information

公演情報

4月

14日(土)

開演19:00 / 開場18:30

アルテベルジャズコンサート

～Saturday Jazz Time Vol.47～

<前売>当日ととも1,000円 自由席

<発売中> 主催:アルテベル(堺市立美原文化会館)

W S ★

アルテベル(堺市立美原文化会館)ホール

28日(土)

開演17:00 / 開場16:00

映画「砂の器」シネマ・コンサート2018

ビッグ・アイ(国際障害者交流センター)多目的ホール

<前売>当日ととも7,500円 全席指定

<発売中> 主催:(公財)堺市文化振興財団エコーチェン理事準備室

W S U 103-571 52043 E ★

5月

3日(木・祝)

1部 開演10:30 / 開場10:00
2部 開演13:30 / 開場13:00

第7弾 東文化名画座「大巨獣ガッパ」「大魔神」

<前売>1部・2部 各500円 <当日>1部・2部 各600円 全席指定

<発売中> 主催:堺市立東文化会館

堺市立東文化会館メインホール

W S E 52585 ★

12日(土)

開演14:00 / 開場13:30

ゴスペル「自由への道標」

<前売>当日ととも一般1,000円 高校生以下500円 自由席

<発売中> 主催:アルテベル(堺市立美原文化会館)、(公財)堺市文化振興財団

アルテベル(堺市立美原文化会館)ホール

S ★

2日(土)

開演14:00 / 開場13:30

能と狂言の魅力を探る～能楽の入門講座～

<前売>当日ととも1,200円 自由席

4月6日(金)発売 主催:(公財)堺市文化振興財団

ウェスティ(堺市立西文化会館)ホール

W S E 55442 ウェスティ ★

6月

5日(火)～
10日(日)

9:30～17:30(土日祝日)

第2回 新日春展 展覧

<前日のみ>一般700円 高校・大学生500円 小・中学生300円 (堺 アルフانس ミュージアム観覧無料)

主催:新日春会 共催:問合せ:堺市立文化館072-222-5533、(公財)堺市文化振興財団

堺市立文化館ギャラリー

S ★

24日(日)

開演14:00 / 開場12:30

夏井いつき 句会ライブ

<前売>当日ととも2,000円 自由席

<発売中> 主催:アルテベル(堺市立美原文化会館)

アルテベル(堺市立美原文化会館)ホール

W S E 54660 ★

26日(火)

開演14:00 / 開場13:30

東文化歌声喫茶

<前売>1,000円 <当日>1,200円 自由席

4月13日(金)発売 主催:堺市立東文化会館

堺市立東文化会館フラットホール

W S E 53107 ★

7月

1日(日)

開演14:00 / 開場13:30

第四回 東文化菘山狂言会「死神」

<前売>1,500円 <当日>2,000円 全席指定

4月13日(金)発売 主催:堺市立東文化会館

堺市立東文化会館メインホール

W S E 51474 ★

7日(土)

開演14:00 / 開場13:30

第六回 ぶんか寄席

<前売>1,000円 <当日>1,200円 自由席

4月6日(金)発売 主催:堺市立東文化会館

堺市立東文化会館メインホール

W S E 51455 ★

8日(日)

開演14:00 / 開場13:30

堺文コンサートシリーズVol.5「2時間でもわかるイタリアオペラ」

<前売>2,500円 <当日>3,000円 全席指定

4月6日(金)発売 主催:堺市立東文化会館

堺市立梅文化会館ホール

W S E 51804 ★

21日(土)

開演14:00 / 開場13:15

第48回 堺市民能「葵上」

<前売>一般3,500円 割引3,000円(対象は18歳以上、65歳以上の方、障がいのある方とのみ)

<当日>各500円増 全席指定 5月25日(金)発売 主催:堺市民能協会 共催:(公財)堺市文化振興財団

ウェスティ(堺市立西文化会館)ホール

W S E 55446 E ウェスティ ★

※ウェスティのみ割引取扱いあり

7月

21日(土)

開演14:00 / 開場13:30

錦織 健 ノール・リサイタル

<前売>4,000円 <当日>4,500円 全席指定

4月20日(金)発売 主催:アルテベル(堺市立美原文化会館)

アルテベル(堺市立美原文化会館)ホール

W S E 54002 ★

28日(土)

開演17:00 / 開場16:15

野間バレー団第26回定期公演「白鳥の湖」(全席)

<前売>一般5,000円 親子ペア78,000円 学生2,500円 <当日>一般・学生500円UP 親子ペア1,000円UP 全席指定

5月11日(金)発売 ※3歳から入場可能、チケットが必要です。 ※学生等は小学生から24歳までの学生が対象、当日学生証提示。 主催:問合せ:野間バレー団 072-255-7880 協力:(公財)堺市文化振興財団

ソフィア・堺ホール

S

28日(土)

時間未定

にんぎょうげきフェスティバル 2018 in さかい

<前売>大人1,000円 ことば500円(3歳から小学生) <当日>大人1,200円 ことば600円

自由席 5月4日(金・祝)発売 主催:堺市立東文化会館

堺市立東文化会館メインホール ほか

W S E 未定

8月

11日(土・祝)

開演14:00 / 開場13:30

堺シテオペラ ファミリー・カップで楽しむ「子どもとまほう」 ウェスティ(堺市立西文化会館)ホール

<前売>当日ととも 大人3,500円 子ども1,500円(4歳～小学生) 親子4,000円 自由席

5月(予定)発売 ※4歳未満のお子様も席が必要な場合は有料

主催:問合せ:堺シテオペラ(一社) 072-254-1151 協力:(公財)堺市文化振興財団

予約なし 窓口取扱いのみ

S

18日(土)

開演13:30 / 開場13:00

第47回 堺市新人演奏会

<前売>1,200円 <当日>1,500円 自由席

6月29日(金)発売 主催:(公財)堺市文化振興財団

堺市立東文化会館メインホール

W S E 54962 ★

18日(土)

開演14:00 / 開場13:30

日本の伝統音楽・芸能シリーズ「第11回 桐文寄席」

<前売>2,800円 <当日>3,300円 全席指定

5月16日(金)発売 主催:堺市立梅文化会館

堺市立梅文化会館ホール

W S E 51854 ★

無料イベント

(前日) 4月4日(水)～8日(日)

(後日) 4月11日(水)～15日(日)

開場9:30～18:00(※開場日9:00～)

第57回 堺美術協会展

前期:洋画、工芸 後期:日本画、彫刻、写真、書道、大判

入場無料 主催:問合せ:堺美術協会(事務局 072-228-1616) 後援:(公財)堺市文化振興財団

堺市立文化館ギャラリー

4月21日(土)～5月20日(日)

開場10:00～18:00

懐かしの昭和映画(邦画) 看板・ポスター展 II

入場無料 ※4月25日、5月2日、9日、16日は休館日のため休日 主催:堺市立東文化会館

協力:神戸映画資料館

堺市立東文化会館ギャラリー

5月3日(木・祝)

午前の部 開演10:00 / 開場9:30

午後の部 開演13:30 / 開場13:00

映画「SING」無料上映会

入場無料 指定席 午前・午後とも完全入れ替わり

※入場には整理券が必要ですが、後援/がんに必要事項を記入の上、お申込みください。(応募多数の場合は抽選)

■文化講座受講生作品展会を同時開催しています(5/3～5/6入場無料)。 主催:問合せ:堺市立梅文化会館

堺市立梅文化会館ホール

6月3日(日)

1部 開演14:00 / 開場13:30

2部 開演16:30 / 開場16:10

第4回 北野田バンドフェスティバル

入場無料 自由席 1部・2部とも完全入れ替わり ※入場には整理券が必要ですが、後援/がんに必要事項を記入の上、お申込みください。

各100名 200名(応募多数の場合は抽選) 募集期間:5月1日(火)から5月15日(火)当日消印有効

主催:北野田バンドフェスティバル実行委員会 後援:問合せ:堺市立東文化会館

堺市立東文化会館メインホール

7月28日(土)～8月5日(日)

開場9:30～19:00(※開場日9:00～)

堺市展優秀作品展&NEW FACE ART展

入場無料 主催:(公財)堺市文化振興財団

堺市立文化館しょうぶ・つつじ

8月4日(土) / 8月5日(日)

開場12:00 / 開場10:00

堺アート・ワールド2018

入場無料(別途、ワークショップなど参加費あり)

主催:(公財)堺市文化振興財団 後援:堺美術協会

堺市産業振興センターイベントホール

チケット



WEB購入(詳細P9)



電話・窓口購入(詳細P9)



チケットぴあ(予約コード)
0570-02-9999



ローソンチケット(予約コード)
0570-084-005



e+「Eプラス」
http://eplus.jp



未就学児入場不可

主催・問い合わせ先はP9へ

PICK UP SACAY ピックアップ公演

第7期 東文化会館展 **「大巨獣ガッパ」「大魔神」5月3日(木・祝) 堺市立東文化会館メインホール**

1部【大巨獣ガッパ】開演10:30 開場10:00 上映時間 143分24秒 2部【大魔神】開演13:30 開場13:00 上映時間 143分24秒

【大巨獣ガッパ】日活が製作した唯一の本格的特撮怪獣映画。親子の情愛をも描き怪獣映画としては珍しい叙情的な作品。
 【大魔神】設定を戦国時代における時代劇と特撮が融合された作品。3作からなるシリーズ作品であり1966年に3作とも時代劇の本場であった大映京都撮影所が製作。今回はその1作目で大映の特撮映画を代表する作品。

<前売>1部・2部 各回500円 <当日>1部・2部 各回600円 全席指定
 発売中 主催:堺市立東文化会館

W S □ ☆ 52585



【大巨獣ガッパ】©日活



【大魔神】©1966 東映動画

コスペル「自由への道標」5月12日(土) 開演14:00 開場13:30 アルテベル(堺市立美原文化会館)ホール

近年、日本で多くファンを持つコスペル音楽。アメリカから拉致された兵隊たちの「自由」を求める逃亡の軌跡を経験豊かな本場のコスペルシンガーと西暦西暦の実力を持つ合唱団による演奏等により、その歌詞に響かされた魂を解き明かす「ソノシ」には、経験豊かな本場のコスペルシンガー、合唱とピアノは、「ビジュネス」ではなく、本質的な演奏が奏でられる演奏会を起用。また、DVDにおいては、アメリカ系アメリカ人兵隊の「逃亡の歴史」の着眼点となる事件の画像なども展示します!!

出演:ジーン・ウィグナー3重奏、モープア&ル記念合唱団 制作:指原 益子 舞
 <前売>当日とも一般1,000円 高校生以下:500円 自由席
 発売中 主催:アルテベル(堺市立美原文化会館)、(公財)堺市文化振興財団

S ☆



村野藤吾 ©MURANOdesign



日生劇場

異文化コン서트シリーズvol.5 **「2時間でわかるイタリアオペラ」7月8日(日) 開演14:00 開場13:30 堺市立榎文化会館ホール**

昨年開催した「オペラってなんなの?」の続編。堺市在住の若手歌手に加え、今年も関西トップクラスの實力派オペラ歌手も参戦!! オペラ指揮者として全国で活躍する牧村邦彦のナビゲートであった2時間でオペラ通に!

出演:松本重平(テノール)、木澤信子(ソプラノ)、松澤聡也(リトーン)、寄島隆雄(ピアノ)、渋谷美奈(ソプラノ)、栗川夏子(ピアノ)
 <前売>2,500円 <当日>3,000円 全席指定
 4月8日(金)発売 主催:堺市立榎文化会館 企画・構成:COPAエンタープライズ

W S □ ☆ 51804



募集

● **第31回 阪田三吉名人杯将棋大会 参加者募集** 開催日:5月20日(日) 開会式:9時15分〜 会場:堺市立藤西中学校 体育館

募集期間:〜4月27日(金)まで 早割申込制 ※先着順。上記は各クラス定員より1次募集枠のみ。参加対象:アマチュアであればどなたでも参加可。 ※参加額によって年齢制限等あり
 参加費:一般1,300円 中学生以下700円 申し込み:郵送または窓口受付 ※詳細は財団HPまたは各区分府市政協コーナーなどの案内チラシをご覧ください。
 お問い合わせ:(公財)堺市文化振興財団 阪田三吉名人杯将棋大会部 072-228-0880 主催:(公財)堺市文化振興財団

● **第47回堺市新人演奏会 出演者募集オーディション** 開催:6月10日(日) 13:30 会場:堺市立東文化会館メインホール

募集期間:〜5月15日(水)必着 6月18日(土)東文化会館で開催する「第47回堺市新人演奏会」出演者オーディション参加者を募集します。 ※オーディションは非公同
 参加料:3,000円 年齢制限:18歳〜30歳未満 ※両年度別のA35歳未満 募集要項取扱い:財団HPダウンロード、堺市役所市政協センター、区役所市政協コーナー
 主催:お問い合わせ:(公財)堺市文化振興財団 072-228-0880

● **堺シティオペラ 夏休みkid's club 2018 参加者募集** 開催:7月24日(火)〜2018年7月29日(日) 会場:エニテキエイト

募集期間:〜5月15日(水)必着 料金:事前申込制 12,960円(全6日間) 募集人数:30名 年齢制限:年中児から中学生まで
 申し込み問合せ:堺シティオペラ(一社) 電話:072-254-1151 FAX:072-254-1171 ※のち:kid's clubエニテキエイトによる歌唱・演技指導
 各日10:00〜12:00(最終日7/29日11:15〜12:00) 発表会あり 主催:堺シティオペラ(一社) 協办:(公財)堺市文化振興財団

● **堺アート・ワールド 2018 出展者募集** 開催:8月4日(土)、5日(日) 会場:堺市産業振興センター イベントホール

募集期間:〜5月11日(金)まで 今年で10回目を迎え5周年アート・ワールド、作品展示や即売会のイベント出展者を募集します。
 申し込み:所定の応募用紙にて郵送のみ受付 ※詳細は財団HP等をご覧ください
 問合せ:堺アート・ワールド運営事務局06-4256-7187 主催:(公財)堺市文化振興財団



堺文化会館ホール天井

とが 母 文化会館
 昭和を代表する 建築界の巨人 村野藤吾、 最晩年の作品!

堺文化会館は、堺市の南地区の文化振興の拠点として1984年に開館しました。建物は建築家村野藤吾の作品です。村野は93歳で亡くなるまで数多くの作品を残した。東の丹下。西の村野と評される昭和を代表する建築家です。日生劇場。そこより大阪本店。大阪新歌舞伎座。志摩観光ホテルなど多くの人に愛された建物を作っていますが99%関係者の話を聞き、残りの1%セントラから出発する。それでも村野は関心という傍の言葉通り、1つ々のスタイルにこだわらず、大きなビルから茶室まで時代や用途に合わせて様々なスタイルの建物を設計し、その美意識で内装までも手掛けた多くの顔をもつ稀有な建築家でもありました。妻貞自在のスタイルの為、村野建築は一見しただけでは動の作品と分かりづらぬとも言われていますが、村野は、後輩の美、に強いこだわりを持っていた。階段、手すり、通路に特徴が表れると語られています。もちろん母文化会館でもその美しい曲線とシルエットが存見できます。また村野作品は建物の細部にまで遊び心や仕掛けを詰め込んだとも言われています。取り廻しを何度も繰り返る貴重な村野作品のこだわりを発見し、一度来てみてはいかがでしょうか。海底を思わせる幻想的な建築美が見られるホール天井も確認してみてください。1つ、語れる際は階段とともに是非天井

堺 アルフォンス・ミュシャ館



企画展「ミュシャと新しい芸術 アル・ヌーヴォーとミュシャ・スタイル」

前期:開催中(5月6日(日)まで) 後期:5月10日(木)〜7月8日(日)まで

<前期・後期では展示内容が変わります。>

19世紀末のヨーロッパで起こった芸術潮流、「アル・ヌーヴォー」を追いながら、アルフォンス・ミュシャの作品をご紹介します。

開館時間:9:30〜17:15(入館は16:30まで)

料金:一般500円(400円) 高大生300円(240円) 小中生100円(80円)

()内は20人以上100人未満の団体料金
 ※小学生未満・65歳以上・障がい者手帳をお持ちの方と介護者は無料
 ※各種観覧割引があります
 お問い合わせ:072-222-5533 info_mucha@sakai-bunshin.com

休館日:毎週月曜日(休日の場合は開館)・

休日の翌日(翌日が土・日・休日の場合は開館)

展示時間外休館日があります。詳細はHP

所在地:堺市堺区田出井町1-2-200

ベルメゾン堺市館 (JR阪和線「堺市駅」徒歩約3分)

能

ふれる堺。

堺出身の伝説の能楽師

喜多七太夫長能

中世 茶道と同時に大きく繁栄した文化として能楽があります。能は利休が大成した佐伯茶にも大きな影響を与えたと言われています。その能楽の主役を務めるシテ方の流儀は5つ、観世・世・春・金剛・喜多 あり、そのうちの一つ喜多流の流祖喜多吉(喜多七太夫長能)が堺出身なのをご存知でしょうか。

眼科医の子息として生まれた七太夫は、幼いころから能の才能に秀でており、7歳の時に豊臣秀吉の前で舞った「羽衣」でその名を馳せ、秀吉の寵愛を受け育ちます。その後七太夫は金剛太へ(金剛流の家元 弥一)の養子となり金剛太を継承しましたが、弥一の実子・石京勝吉の成人後に太夫の地位を譲り、その後宝生流の後見役を務めるなど活躍の場を広げていきました。

また豊臣秀吉に仕え、大阪の陣では豊臣方として戦い、落城後も身を隠していました。が、家柄の時代から一門秀忠の時代に移動し、能役者として仕えるよう秀忠に勧められます。その庇護のもと従来四座とは別に流派の創設が認められ、喜多流を起こしるの流祖として活躍しました。

秀吉、秀忠だけではなく、黒田長政、伊達政宗、藤堂高虎といった数々の大名に愛された、能楽史に輝く最も偉大な人物の一人として、その偉業は今も語り継がれています。



能楽の世界へようこそ



宝生流第 千代宗家

日ラシエラオケサナヒス
宝生和英

能楽は、能面、装束、音楽性として文学性などでも十分楽しむことが出来ますが、「鑑賞のコツ」を掴むことよりその魅力を知ることが出来ます。能楽は一般の演劇とは異なり、作者の想いを一方的に受けるのではなく面白さが半減します。時代や物語の背景はもちろんで、登場人物のパターンを想像することが重要になってきます。それらに正解はありません。全てが正解を言っていないでしよう。それらは観るほど良い解釈も生まれません。ご自身のための気持ちのありようで受け止める方も変わります。今日世界で行われているエンターテインメントのほぼすべてが、共感や高揚を提供するものになっています。また観客もより大きな興奮を求めています。しかし能楽はそれとはまた大きく異なり、自身の気持ちや「夢」の時間と機会を与えてくれます。室町時代から、農は農作物の収穫など日々の生活の不安を取り除く為観劇していました。また台帳で迫りくる死と日々向き合っていた武将も能楽を観たり舞ったりすることで心を鎮め、次の合戦に臨んでいました。

不安定な現代社会も、プレッシャーやストレスが蔓延しています。能楽は目に見えない、未来への恐怖を取り除くものとして発展してきました。疲れた時、やり場のない気持ちを持つ時、新しいアイデアを求めたい自分を向き合いたい時など、能楽を無理に理解しようとする、諷と嘲子方の奏でる音楽その物語に身をゆだねるだけで、心が落ち着いてくることが実感できるかと思えます。この機会に是非能楽の世界を体験してみてください。



能と狂言の魅力を探る ~能楽の入門講座~ 6月2日(土) 開演14:00 / 開場13:30 ウェスティ(堺市立西文化会館)ホール

能と狂言の見どころを美演と交え、楽しく解説します。第48回堺市民能「葵上」鑑賞の事前講座としてもおすすめです。
出演：長山禮三部(観世流能楽師)、小笠原 匡(和泉流狂言師) ほか
<前売>当日とも>1,200円 自由席 4月6日(金)発売 主催：(公財)堺市文化振興財団

第48回 堺市民能「葵上」7月2日(土) 開演14:00 / 開場13:15 ウェスティ(堺市立西文化会館)ホール

1970年に大鳥大社で行われた「堺薪能」に始まり、1996年から財団が引継いで開催している歴史ある公演です。今年で48回目を迎えます。一流の出演者による能や狂言は大きな人気を呼び、今では堺の夏の風物詩としてすっかり定着しています。
「仕舞」数番 「狂言」魚説程：茂山千作、茂山千三郎 「舞囃子」高砂：観世流之丞 班女：大槻文章
「能」葵上：長山禮三部、福王茂十郎 ほか
<前売>一般3,500円 割引3,000円(対象は18歳以下、65歳以上の方、障がいのある方とご参加者) <当日>各500円増
全席指定 5月25日(金)発売 主催：堺市民能協会 共催：(公財)堺市文化振興財団

W S B E ★ ウェスティ ※ E ウェスティのみ割引券取扱あり



能楽って??



6世紀初ごろ中国から「雅楽」が上陸し、そこに中国の民間音楽が加わり「散楽」が生まれます。その「散楽」が日本古来の芸能と混じりあい「猿楽」となります。その後鎌倉時代に舞伴儀礼から生まれた「田楽」や寺院芸能の「延年」などの影響を受け、南北朝から室町時代初期に「能」の原型が生まれます。そして、いよいよ室町時代に観阿弥、世阿弥親子により歌曲や美しい舞、ストーリー性が加わり「能」が完成しました。

観阿弥、世阿弥親子の時代から600年もの間、一度も絶えることなく師匠から弟子へ(親から子へ)伝承されている芸術は世界中で「能楽」だけであると言えるでしょう。

・能の構成
能舞台はシテ方(主人公)ワキ方(シテの相手役)囃子方(笛・小鼓・太鼓・大鼓)地謡(謡曲や登場人物の心理を唱える)通常8名(シテ方担当)で構成されています。能楽師はシテ方5名、ワキ方3名に当り、ワキ方がシテ方として舞うことはなく、役割り担当がしっかりと決まっています。

・能の奏し方
能は、あの能化の世のはままで、神・神楽・鬼・もののけや、狂らんだり、危困難を直面している人が繰り返りける物語で、一種のファンタジーでもあります。また舞台上にあるものすべてが観客まで落ちておられます。そのとき落とした部分を経て、観客が個々のマインド・ソングで想像し、物語を膨らませる創造性の高い芸術です。まずは難しいことはあります。聴くことで聴かす耳を磨けば、舞や装束を眺めてみるだけでも十分楽しむことが出来る舞台になっていきます。